









(トピック型) プログラム 活動(ユニット)案 「私の好きなもの」

プログラム名	トピック型日本語プログラム	
授業名	私の好きなもの(自己紹介2)	
対象児童・生徒	()小低 (◎)小中 (◎)小高 ()中学生 ◎:主な対象 ○対象	
時間	(25)分 × (2)回	
形態	(○)少人数グループ (○)個別	
日本語の力 (ことばの力のものさしで)	・指示の意味は理解できないが、周りの行動を真似したり、反応したりする。(聞く、話す) ・文字を習得している段階で、五十音表を手掛かりに真似して書く。(書く)	
	[聞く・話す] ステップ1 [読む] ステップ1 [書く] ステップ1	
	[聞く・話す] ステージC [読む] ステージD [書く] ステージC	
目標 (Can-do)	・初対面の人への自己紹介で、自分が好きなものについて簡単に紹介したり、質問に答えたりできる。	
既習事項	挨拶 自己紹介(名前、出身国)	
語彙・表現	語彙 (太字を目標とし、他は紹介程度とする)	これ 食べ物、果物、どうぶつ、アニメなど(児童が好きな物)
	表現	・(わたしは) _____が好き(です)/好きですか。 ・(わたしは) _____が好きじゃない(です)
コア日本語 (文型・文法/語彙)	・ナ形容詞文/肯定・否定/丁寧体 「(好き)です/じゃありません。」 ・目的語の格助詞「が」	
	指示語「これ」	
主な活動	学習活動	学習方略
	1回目 イラストや写真などを指しながら、好きかどうかやりとりする。 2回目 自己紹介で好きなものを伝える。	・写真と語を結びつけて理解する。 ・学んだ語を繰り返し聞いて発話する。 ・ジェスチャーや表情から状況を推論し、語の意味を理解する。
実施上の留意点	・自己紹介の一環として好きなことを紹介する学習である。好きなことを伝え、質問に答えられるようにするため、やりとりの活動を中心にする。 ・児童生徒に身近なものや興味関心をもちそうなものを、図鑑や絵辞典等、実物、写真で示し、好きなものを選ばせて、それを紹介できるように組み立てる。 ・この回で語彙を覚えることを目指すのではなく、日本語の授業で繰り返し、好きな物についてやりとりをしながら、語彙を増やし、表現の運用力を高める。	
アイデア	<児童生徒の多様性への対応> ・年齢によって、この学習で学んだ食べ物や動物から、アニメやキャラクター、乗り物などへ、高学年は、歴史上の人物や好きな芸能人やキャラクターから特に好きな人物等へと、発展させられる。 ・高学年であれば、文字の学習に関連付けて、名前、出身国、好きなもので、自己紹介カードを作成する。	
	<他のプログラム・教科との関連> ・トピック型プログラムの「給食1、2」の好きかどうかのやりとりの学習、技能・タスク型プログラムとして「好きなこと」を書く活動に結び付けることができる。 ・教科では国語科・1年生の自己紹介に関する単元や、算数科・3年生の好きなものランキングをグラフにする活動と関連付けて実施することができる。	

活動案 【私の好きなもの1】

本時の目標 図鑑や絵辞典の写真を見て、好きか好きじゃないかを発話することができる。(話す)			
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援 △留意点
5分	<p>導入</p> <p>1 写真等を見て食べ物等に興味を抱く。</p> <p>・「好き」という語を知る</p>	<p>T: (食べ物の写真を指し、笑顔でペープサートを示して) 好き。</p> <p>S: 好き。</p>	<p>○図鑑や絵辞典</p> <p>ペープサート</p> <p> </p> <p>すき すきじゃない</p> <p>◇いくつかの例で、「好き」の意味が理解できてから、発話(リピート)を促す。</p>
10分	<p>展開</p> <p>2 写真を見て、好きなものについて「好き」と発話する。</p> <p>3 嫌いな生き物について「好きじゃない」と発話する。</p> <p>4 食べ物と動物に関して、好きかどうか質問に答える。</p> <p>・好き/好きじゃないだけで答える</p> <p>・好きな物の名称も添えて答える。</p>	<p>T: (ピザの写真を示し) これ、好き?</p> <p>S: (ペープサートを出す)</p> <p>T: 好き (発話を促す)</p> <p>S: 好き</p> <p>T: (犬の写真で) 好き?</p> <p>S: 好き</p> <p>T: (蛇の写真で) これ、好き?</p> <p>S: (いやそうな顔)</p> <p>T: (ペープサートを示し) 好きじゃない。</p> <p>S: 好きじゃない</p> <p>T: (食べ物、生き物、果物の写真で) これ、好き?</p> <p>S: 好き</p> <p>T: これ、好き?</p> <p>S: 好きじゃない。</p> <p>T: (好きと答えたものを指して) サンドイッチ、好き?</p> <p>S: サンドイッチ、好き。</p> <p>T: バナナ、好き?</p> <p>S: バナナ、好き。</p> <p>T: ねこ、好き?</p> <p>S: ねこ、好き。</p>	<p>△子どもが好きそうな食べ物のページを準備しておく</p> <p>◇言えたらOKサイン等で、安心感を持てるようにする。</p> <p>◇様々な食べ物で、繰り返し「好き」と発話する機会を作る</p> <p>◇生き物で児童が苦手そうなものを準備して、児童の反応から「好きじゃない」を導入する。</p> <p>◇好きかどうかを答えやすいように、子どもにペープサートを持たせ発話とともに出せるようにする。</p> <p>◇自己紹介で何が好きか言えるように、好きな物の名称を食べ物、果物、動物等から、1つずつ選んで、教える。</p>
10分	<p>まとめ</p> <p>5 ワークシートで、「すき」な物と好きじゃない物を選ぶ。</p>	<p>T: (シートの該当部分を指さしながら) 食べ物です。好き? 好きじゃない?</p> <p>S: これ、好き (○を書く)</p> <p>S: これ、好きじゃない (×を書く)</p> <p>T: ○は何? ×は何? 書きましょう。</p> <p>S: ワークシートに「好き、好きじゃない」と書く。</p>	<p>○文字カード「すき」「すきじゃない」を提示</p> <p>◇指示にはジェスチャー(書く動作や読む動作)を伴わせる。</p>
評価対象と方法		活動4 食べ物や動物の写真・絵の物が好きかどうかの問いに、自分の好き嫌いを「好き」「好きじゃない」で答えられたか。	

活動案 【私の好きなもの2】

本時の目標 自分の好きな物について質問に応じることができ、自分が好きな物を加えた自己紹介をすることができる。(話す、聞く)											
分	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援・留意点								
5分	導入 1 復習として、質問に「好き／好きじゃない」で答える。	T: ○○さん、これ(蛇の写真を示し)、好き?好きじゃない? S: 好きじゃない。 T: バナナ、好き? S: バナナ、好き。	○第1回で利用した、図鑑、絵辞典等								
15分	展開 2 果物について、「～が好きです／好きじゃないです」と発話する。 ・果物名(バナナ、りんご、ぶどう、みかん)を知る ・質問に答える。 3 自分の好きなものについて、質問に答える。 ・カテゴリーごとに、好きなものに関する質問に答える。 ・「好き」と答えたもの以外についての質問に答える。	T: バナナ、りんご、ぶどう、みかん、メロン、レモンはくだものです。 T: りんご(絵を指し) S: りんご(果物の名称をリピート) T: メロンが好きですか。 S: はい、メロンが好きです。 T: レモンが好きですか。 S: いいえ、レモンが好きじゃないです。 T: (果物の絵全体を指して)どんな果物が好きですか。 S: バナナがすきです。 T: (食べ物の写真を指しながら)どんな食べ物が好きですか。 S: サンドイッチ T: サンドイッチが好きです。 S: サンドイッチが好きです。 T: (動物の写真を指しながら)どんな動物が好きですか。 S: ねこがすきです。 T: じゃあ、犬は好きですか。 S: すきじゃないです。	○果物の絵カード(できれば、児童の出身地の果物も準備する) △上位概念の語「くだもの」を理解し、自身が好きな果物の名称を言えばよしとする。 ○文字カード(「が」は別のカードで準備)(例) <table border="1" style="margin: 5px auto;"><tr><td>が</td><td>すき</td><td>です。</td><td></td></tr></table> <table border="1" style="margin: 5px auto;"><tr><td>が</td><td>すき</td><td>じゃないです。</td><td></td></tr></table> ◇自己紹介等で「どんな～がすきですか」という質問を聞いて、応答できるように、複数のカテゴリーについて同様の質問を行う。 △食べ物、くだもの、動物/生き物の具体については、児童の興味・実態に合わせて変更する。 ◇次の自己紹介の準備として「好きですシート」(第2回ワークシート例の右)を作成する。好きな物の絵を準備し、文字をなぞり書きができるようにする(教師が薄く下書きする)。	が	すき	です。		が	すき	じゃないです。	
が	すき	です。									
が	すき	じゃないです。									
5分	まとめ 4 自己紹介で「好きなもの」を話す。 ・教師のモデルを聞く ・自己紹介をし、質問に答える。	S: わたしは○○です。サンドイッチが好きです。バナナが好きです。どうぞよろしく。 T: どんな動物がすきですか。 S: ねこが好きです。 T: ありがとうございます。	◇自己紹介の型として、「名乗り、好きな物、挨拶」で構成することを、モデルとして示す。(ワークシート左の自己紹介モデル文を指しながら。)								
評価対象と方法	活動3 食べ物、果物、動物それぞれの好きな物についての質問に、「～がすきです／がすきじゃないです」と答えることができた。 活動4 好きな物を含めて、自己紹介ができたか。										

◎教材のヒント 絵ことばじてんなど

・文化庁「にほんごえじてん」

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/nanmin_nihongokyoiku/kyozai_1/

上記サイトの食べ物に関するページ

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/nanmin_nihongokyoiku/kyozai_1/pdf/05.pdf

◎教材のヒント「自己紹介」のワークシート

・にほんごワーク <https://nihongowork.com/wp-content/uploads/2021/02/jikosyokai01.pdf>

第1回のワークシートの例

なまえ ()					
すき?		すきじゃない?			
○ : すき		× : すきじゃない			
サンドイッチ の絵	○	バナナ		いぬの絵	
ピザの絵		スイカ		ねこの絵	
サラダの絵		トマト		へびの絵	

第2回のワークシート

<u>じこしょうかい</u>		() が すきです	
こんにちは。 わたしは _____ です。		くだもの ばなな	バナナの絵
_____ から きました。		たべもの さんどいっち	サンドイッチ の絵
_____ が すきです。		どうぶつ ねこ	猫の絵
_____ が すきです。			
どうぞ よろしく おねがいます。			